

『文化芸術の推進によるまちづくりアクションプラン』の位置づけと基本的な考え方について

◆アクションプランに関する方針

- ・アクションプランは、各事業の成果を個別に評価するものではなく、総合計画に掲げるKPIを達成に向けた取組の実施状況を整理・共有することを目的とする。
- ・文化芸術アクションプランは、総合計画に掲げるKPIを達成するための「実行計画」として位置づける。
- ・最終的な成果の評価については、総合計画のKPIによって行うものとする。
- ・アクションプランの進捗管理については、各取組が計画どおりに実施されているか、また、どのような内容で展開されたかといった「実施状況」を中心に行う。
- ・必要に応じて、参加者数などの数値を補足的に用いる。
- ・アクションプランは目的別に整理し、大項目ⅠおよびⅡはKPIの①を達成を目指す取組、大項目ⅢおよびⅣはKPI②の達成を目指す取組として位置付ける。

◆総合計画成果指標 (KPI)

- ①18歳以上49歳以下が、最近1年間に公演や展覧会などで文化・芸術・娯楽などを直接鑑賞した割合
【中間目標】令和11年度：60%
- ②18歳以上49歳以下が、最近1年間に公演や展覧会などで文化・芸術・娯楽などを行った割合
【中間目標】令和11年度：55%

◆アクションプラン目的別事業項目

Ⅰ 『鑑賞』機会の充実 (KPI①)		
	文化芸術を「見る・聴く」ことにより、多様な文化体験に触れる機会を提供する	主な対象
1	幅広い文化芸術の鑑賞事業	全世代
3	子育て世代向けの文化芸術事業(鑑賞)	子育て世帯
4	小中学生の文化芸術活動を活性化させるための事業構築(鑑賞)	小・中学生
6	日常的に文化芸術に接する環境の整備(鑑賞)	全世代
7	大規模イベント	全世代
10	むなかた芸術祭(鑑賞)	全世代
11	むなかた文化祭(鑑賞)	全世代
12	むなかた吹奏楽祭(鑑賞)	全世代
13	むなかたこども芸術祭(鑑賞)	小・中・高校生、子育て世帯
20	文化芸術ギャラリー	全世代
23	国際交流による文化芸術活動の推進(鑑賞)	全世代
Ⅱ 『体験』機会の充実 (KPI①)		
	文化芸術に触れ、試し、初めての活動につながる機会を提供する	主な対象
2	文化講座の開催	全世代
3	子育て世代向けの文化芸術事業(体験)	子育て世帯
4	小中学生の文化芸術活動を活性化させるための事業構築(体験)	小・中学生
5	障がい者の文化芸術活動の推進(体験)	障がい者
15	国民娯楽の体験及び発表の機会の充実	全世代
23	国際交流による文化芸術活動の推進(体験)	全世代
Ⅲ 『参加・発表』機会の充実 (KPI②)		
	文化芸術を能動的に行い、その成果を公開する場を提供する	主な対象
4	小中学生の文化芸術活動を活性化させるための事業構築	小・中学生
5	障がい者の文化芸術活動の推進	障がい者
6	日常的に文化芸術に接する環境の整備	全世代
9	学生・生徒の文化芸術事業への参加	中・高校生、大学生
10	むなかた芸術祭	全世代
11	むなかた文化祭	全世代
12	むなかた吹奏楽祭	全世代
13	むなかたこども芸術祭	小・中学生、子育て世帯
15	国民娯楽の体験及び発表の機会の充実	全世代
18	地元アーティスト活動促進・活用事業	つくり手
Ⅳ 育成のしくみの構築 ※育成の対象：つくり手・支え手・次世代・地域 (KPI②)		
	文化芸術を支えるつくり手・次世代・市民団体・地域を育て、持続可能な文化振興の基盤を形成する	主な対象
8	伝統文化の継承	次世代・地域
14	吹奏楽部員音楽指導	中学生
16	文化芸術活動事業補助金	市民団体(つくり手)
17	コーディネート機能の充実	支え手
18	地元アーティスト活動促進・活用事業	つくり手
21	宗像ユリックスの文化芸術交流における広域的な拠点化	地域・支え手
22	企業等との連携事業	地域・支え手
Ⅴ その他		
19	デジタル技術を活用した情報発信	
24	文化芸術の推進によるまちづくりアクションプランの策定	